

回 答 書

業務の名称 雲出川左岸浄化センターほか電気設備点検業務
(契約締結の日から平成31年3月15日まで)

上記業務について下記のとおり質問がありましたので回答します。

平成29年11月6日

| 質問事項 |
|--|
| <p>(1) 別表第5 (第12条関係)</p> <p>単線結線図を見たところ、6.6kVと記入されているので、特高受変電設備は無いということによろしいですか。あるとしたら、特高受変電設備の精密点検及び測定欄に「分解点検」「部品取替」とありますが、対象機器(メーカー、型式)が何なのか、分解点検及び取替部品等の詳細を教えてください。特高受変電設備の主変圧器について、定期点検(1年)及び測定欄に「絶縁油分析」とありますが、分析の詳細を教えてください。</p> <p>この別表第5は、複数の現場で使用できるように作成されているものですか。</p> |
| <p>(2) 別表第5 (第12条関係)</p> <p>高圧受変電設備の遮断器について、精密点検(3年以上)及び測定欄に「遮断時間測定(時間、電圧、電流)」とありますが、投入側の測定は不要でしょうか。また電流とは何を指しますか。</p> |
| <p>(3) 別表第5 (第12条関係)</p> <p>高圧受変電設備の開閉器・接触器について、精密点検(3年以上)及び測定欄に「停止して内部の接触子の荒れ」とありますが、内部の接触子とは何を指しますか。また、同左特性とありますが、詳細を教えてください。</p> |
| <p>(4) 別表第5 (第12条関係)</p> <p>自家発電設備のディーゼルエンジンについて、精密点検(3年以上)及び測定欄に「F点検」「E点検」とありますが、それぞれの点検内容について詳細を教えてください。</p> |
| <p>(5) 業務委託設計書</p> <p>第3号明細書(平成29年度)のリアクトル、真空接触器、過電流継電器、地絡過電圧継電器、地絡過電流継電器、過電圧継電器、地絡方向継電器、2要素継電器、漏電検出器の精密点検の点検内容について詳細を教えてください。</p> |
| <p>(6) 特記仕様書 第2章 電気設備点検業務実施要領</p> <p>水処理施設停止を伴う作業については、13時から約3時間のポンプ停止可能な時間帯のみとし、作業日の間隔は原則3日以上あけること。とありますので、水処理施設がある各棟の回線名を教えてください。</p> |

回 答

(1) 単線結線図に記載のとおり、雲出川左岸浄化センター及び香良洲中継ポンプ所の受電電圧は6.6 kVであり、特高受変電設備はありません。なお、ご質問の別表第5については、三重県流域下水道事業保安規程の別表であり、三重県流域下水道事業の電気工作物に共通して適用されます。

(2) 高圧遮断器の精密点検においては、開閉操作試験を行い、開閉時間、最低動作電圧等の測定を行います。したがって遮断側と同様の測定を投入側でも行ってください。

なお、開閉操作試験においては電流の測定の必要はありません。

(3) 高圧受変電設備の開閉器・接触器の内部の接触子は、主回路の投入・遮断や主回路の断路を行う可動側と固定側の接触部を指し、その特性としては、開閉操作試験における開極時間、閉極時間、不揃い時間等を測定します。

(4) E点検、F点検はディーゼル機関の点検において使用される点検区分で、一般にE点検が精密点検、F点検が分解（開放）点検に相当するものとされますが、本業務委託において自家発設備については各年度とも定期点検を行い、精密点検（3年以上）及び測定欄の内容は適用外です。

(5) リアクトルについては外部一般、ブッシング接続部、温度警報接点端子、接地線、示温ラベル等各部の点検、清掃を行い、真空接触器については、操作機構部、主回路外部一般、制御回路部、ヒューズ、表示器等各部の点検、清掃及び必要箇所への注油等を行うとともに開閉操作試験（開極・閉極時間、不揃い時間差等）、真空バルブ商用周波耐電圧試験、絶縁抵抗測定等を行います。各種保護継電器については外箱、表示器、LED表示状態、タップセレクタ、端子部等の点検を行うとともに、継電器の種類に応じた特性試験を行います。なお、リアクトルの点検、保護継電器の点検及び特性試験については毎年行う通常点検と内容に特段の相違はありません。

(6) 水処理施設に関わる回線名を付けていませんが、棟・室全体が水処理施設と考えてください。そこで、送風機棟、流入ポンプ棟、2系水処理電気室の停電作業時は水処理停止を行う必要があります。これらの停電作業については原則として午後から約3時間、かつ3日間以上の間隔をあけることとしています。その他の系統（急速ろ過池、汚泥処理棟、管理本管）の停電作業については3日間以上の間隔をあける必要はありませんが、停電作業は原則として午後から約3時間で行うこととしています。